

## 特別保護区秋の一般公開

11月29,30日,12月6,7日の一般公開日には頭上が紅葉に覆われ、地上には落ち葉がびっしり。木や草の実も色付き秋たけなわ。今回は一般公開日の様子の一部をご報告。

29日は夕方まで大雨、閉園間際に雨がやんでお客様少々。翌日は陽が出ていましたが一時小雨がぱらつきましたがお客様の出足好調。翌週はよく晴れてお客様はご満足の様子でした。四日間の入場者は320名でした。

トピックスはチョウの幼虫と蛹。なかなか見る機会の無いものを発見しました。



頭上をおおう紅葉



受付には柿の葉のおひな様

池にはたくさんの落ち葉が浮かんでいました



アオスジアゲハの幼虫



アオスジアゲハの蛹  
右下は寄生蜂?にやられ空になった蛹

特別保護区の秋は木や草の実が稔り、いろいろな小鳥がそれらを食べて来ます。やって来た小鳥が別の動物に食べられることも。チョウの幼虫も蛹などで冬越しの準備。ところが以前にもお知らせした寄生蜂などで命を落とすものも。左はアオスジアゲハの幼虫と蛹です。その下は寄生蜂?にやられた蛹の殻。尾の部分かぶら下がっています。



キチョウの蛹の殻。寄生蜂にやられず無事チョウになったようです。



犯人はだれだ ヒヨドリ羽毛

11月20日に続いて、12月7日にもヒヨドリがおそわれた跡がありました。生きものたちの生活のしるしです。